

戦後の木津小学校

昭和 37 年運動会

昭和 22 年「教育基本法」により義務教育 6・3 制が実施され、木津小学校は 6 年間の初等教育を施す学校となりました。戦時下では開催されなかった運動会や修学旅行などの学校行事も再開され、ようやく明るい時代を迎えます。

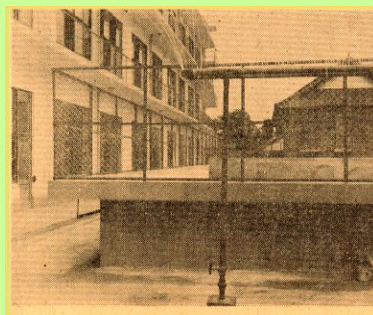


【トランペット鼓隊誕生】

「トランペット鼓隊」誕生は、昭和 44 年のことです。昭和 45 年には大阪千里が丘で開かれたアジア初めての「万国博覧会」に特別出演し、万博見学の人々に深い感銘を与えました。現在は「金管クラブ」と名前を変え、後輩たちに引き継がれています。木津小の伝統の一つと言われる所以です。

【プール竣工】

木津小学校にプールが建設されたのは昭和 33 年のことです。南校舎の南側に、25 m×10m のプールと附属シャワーが設けられました。工費は 150 万円、経費内訳は育友会募金 120 万円、町負担 30 万円でした。これより毎年、夏休み明けの 9 月には水泳大会が開催され、木津小学校の名物となりました。



【完全給食の始まり】

木津小学校では、昭和 23 年から脱脂粉乳給食、昭和 33 年から生牛乳給食の補食給食が実施されました。完全給食に至ったのは昭和 35 年のこと。町教委、学校と育友会が一体となって実現に向けた準備を進め、給食調理室は中庭の東側に建設されました。当時の給食費は、1 食 19 円、月 360 円でした。



現在の校歌制定

現在の「校歌」がつくられたのは、昭和 37 年のことです。木津小学校のシンボルの一つとして、当たり前のように存在する「校歌」ですが、できあがるまでにはいろいろな苦労があったようです。旧校歌は、木津尋常高等小学校時代に存在し、終戦まで歌われていたようですが、いつ作られたのかはわかりません。

戦後、平和な日本の国をめざし学校も新しいスタートを切ります。沿革史によると、昭和 26 年に新校歌作りに着手し、校歌募集要項を木津町全戸に配布しています。しかし、新校歌（現校歌）の誕生は、それから 11 年後の昭和 37 年、90 周年記念事業の一環として、京都音大 桜井武雄先生の手によって実現しています。以後 60 年間子どもたちによって歌い継がれてきました。

世界に一つしかない『木津小学校校歌』です。わたしたちも、誇りをもって大切にしていきます。

木津尋常高等小学校校歌
源清き泉川
流の末は遠くとも
進みゆく世にさきがけて
まことの道の朝夕を
ただ一筋にたゆみなく
務め励まん諸共に
そのかみ明治の大帝
御輦とどめたまひたる
譽の土地よ木津の里
里の榮を身に負ひて
やがて大なる民草我等
いざや盡さむ御國の為に

一代目校歌